

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 0172901779 | | |
| 法人名 | 有限会社 パートナーステーション | | |
| 事業所名 | グループホーム 和が家 ななかまど | | |
| 所在地 | 北海道旭川市春光台5条3丁目7-24 | | |
| 自己評価作成日 | H24年2月5日 | 評価結果市町村受付日 | 平成24年3月28日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の快適な生活の実現のため、ホーム内のスペースの活用はもとより屋外にベンチやテントの設置、犬やウサギなどの動物などと触れ合うことも出来るよう配慮している。周囲は鷹栖の田園風景や白樺並木を眺めることができ、自然豊かな高台で「安心してゆったりと生活」している。
また、花壇や畑作業などが十分に出来るよう自然を生かした環境を提供できるよう努力している。
「和が家」が地域の中で地域との連携、職場の認知症ケアの向上、人材の育成に力を注いでいる。

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172901779&SCD=320 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|--------------------------------|
| 評価機関名 | タンジェント株式会社 |
| 所在地 | 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内 |
| 訪問調査日 | 平成24年3月19日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<事業所の力を活かした地域貢献>
地域の徘徊模擬訓練への参加やSOSネットワークで中心的役割を担う等専門性を活かした地域貢献に取り組んでいる。また、地域の要望・ニーズに基づいて、小規模多機能型施設やデイサービスセンターを開設し、地域の高齢者への支援や障がい者の雇用促進に参画するなど事業所の持つ機能を地域に還元すると共に地域福祉の向上に取り組んでいる。

<本人と共に過ごし支えあう関係>
家族会と一緒に花壇づくりや畑で野菜を収穫するなど家族と共に支えあう関係づくりをしている。また、お花見や紅葉見物、資料館や動物園等普段は行けない場所へ出かけたり、商工会祭り参加や事業所主催の納涼祭を開催し、家族や地域の人々との交流で本人が地域の中で暮らし続けられるように支援している。

| . サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) | | 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します | | |
|--------------------------|--|---|---|---|
| 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに 印 | 取り組みの成果 該当するものに 印 | |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19) | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4) | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごしている (参考項目:30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 経営理念、運営方針、事業計画など説明あり共有しており実践する様心掛けている。 | 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、全体会議やリーダー会議等を通じて理念を共有し、その実践につなげている。 | |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域での催しものや町内の清掃など参加し交流を持つようにしている。 | 地域の徘徊模擬訓練への参加やSOSネットワークで中心的役割を担う等地域貢献に取り組んでいる。また、地域ニーズに基づいて小規模多機能型施設やデイサービスセンターを開設し、事業所の持つ機能を地域に還元している。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 徘徊模擬訓練などにスタッフとして参加している。また入居相談などで認知症介護のアドバイスも行っている。 | | |
| 4 | 3 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 定期的に開催され、サービス内容を報告しており、意見が出されている。 | 年6回運営推進会議を開催し、介護保険改正や制度、リスク管理について具体的に話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | |
| 5 | 4 | 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議での包括支援センターの参加など協力体制を得るようにしている。 | 市や包括支援センター、その他の公的機関等と協力し、徘徊模擬訓練やSOSネットワークに参加するなど連絡を密に行い、連携を深め協力関係を築くよう取り組んでいる。 | |
| 6 | 5 | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束と考えられるものはその都度話し合いをし拘束しないように検討している。言葉での拘束がないか会議では毎回話が出てみんな考えている。 | 指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を身体拘束廃止や高齢者虐待防止の内部研修会等を通じて、正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 研修など参加し学んだり資料を配布したり家族の意見にも耳をかたむけ防止に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 本人の言葉で不安なことや要望を聞き出せるような場や雰囲気作りをし良い関係を作るようにしている。個々に担当者を2～3人にし細かな事を対応している。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | どんなに細かなことも必ず耳を傾けるように面会時には声を聴くように努めている。 | | |
| 10 | 6 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族会を発足しておりそれに伴って運営推進会議を定期的実施している。 | 家族会総会で意見や苦情、要望等を言い表す機会を設けている。また、家族や来訪者等が管理者、職員並びに外部者へ意見や苦情等を言い表せるよう苦情等の相談窓口を掲示している。 | |
| 11 | 7 | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 全体会議やリーダー会議を開催し機会を設けている。 | リーダー会議や全体会議で意見や要望、提案を聞く機会を設け、運営に反映できるよう努めている。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 改善に向けて体制作りや環境整備に取り組んでいる。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | リーダー会議などで職員の把握をし研修には本人希望時と判断にて参加を促している。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 研修や活動に参加し交流を持てるよう取り組んでいる。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 部屋担当者が特に目配りし本人不安解消と要望を聞くように努め計画書に組み込むようにしている。 | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 電話や訪問時などで家族の声を聴くように努めており、ホーム長や計画作成者に伝えるようにしている。 | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 支援経過を記録し必要な支援が発生した時にはいつでも変更できるようにしている。 | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 個々の出来ることを見極め掃除、食事準備など生活全般を一緒にするようにしている。 | | |
| 19 | | 本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 状態変化があればその都度連絡し面会時には生活の様子などの情報提供をしている。その時に意見や要望をきいて支援につなげるようにしている。 | | |
| 20 | 8 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 資料館などに行き昔を懐かしんだり農家の方が多いので田んぼや畑を見に行ったり花などを見にドライブに出かけるようにしている。 | 自宅への帰省やお墓参り、結婚式への参加や馴染みの美容室の利用等で馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 1人きりにならないようにまた、入居者同士の関係性を配慮し席の配置をその都度工夫している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|---|--|--|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去が1名あったが家族との連絡をし精神的にもフォローできるよう努め、ご家族も何度が訪問されている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | カンファレンス時は本人同席で思いを聴いたり普段から雑談や1対1での会話で本人の言動に注目し耳を傾けるようにしている。 | 料理や花壇・畑作り、洗濯物干しや洗濯物たたみ、食器洗い等一人ひとりのペースや役割りを大切に、その日をどのように過ごしたいのか、希望にそって支援している。 | 本人・家族の希望を聞きながらケアに活かせるように介護計画の見直しも含めて検討している。その実践に期待します。 |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人や家族から出来るだけ多くの情報が得られるように面会の時には聞くように努めている。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 個々の生活リズムを把握していきそれぞれに合った過ごし方を支援できるよう努めている。 | | |
| 26 | 10 | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人や家族との話し合いの場を作っている。職員みんなでモニタリングを行い本人や家族の意見を反映させている。 | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について本人・家族の意見を反映し、モニタリングで職員の意見を採り入れ現状に即した介護計画を作成している。 | |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 記録は小さなことでも残すようにしている。情報の共有は申し送りや連絡ノートにて行い介護計画にも反映している。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | その方に必要な補助用具やサービス内容、介助方法など定期的に話し合い本人・家族とともに取り組んでいる。 | | |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 町内の環境整備など参加できる事は参加している。 | | |
| 30 | 11 | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医については個々で自由に行っている。協力機関であったり家族、本人の希望にかかりつけ医など対応している。 | 往診や看護師との連携で、適切な医療を受けられるように支援している。また、本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | 看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週1回の健康チェック時に看護師に報告し相談、指示を受けられるようになっている。 | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | Drの診療時には家族と一緒に同行し今後について話し合い相談、対応している。 | | |
| 33 | 12 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 終末期には家族と納得がいくようにまた不安を解消するため何度もカンファレンスし方針を決め共有するようになっている。 | 終末期のあり方について、早い段階から本人や家族と話し合い、事業所ができることを十分に説明しながら方針を職員間で共有している。 | |
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 入居者個々の身体状況や状態悪化を予測し主治医に指示を仰いでいる。また必要時家族も同席して相談、説明を受けている。応急手当等の訓練等は今後必要と感じている。 | | |
| 35 | 13 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年に2回の避難訓練をし消防の方にアドバイスをいただき訓練の時は全員参加し地域の方も参加してもらっている。 | 年2回火災避難訓練を実施し、地域住民や消防団の参加を得て、緊急時に協力が得られるように協力体制を築いている。また、火災報知器や通報装置、スプリンクラー等の設備の定期点検も実施している。 | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 個人の性格や状態を見極め会話している。話にくいことは個室で話している。 | 全体会議やリーダー会議、身体拘束廃止等の内部研修を通じて、誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように周知している。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 本人の希望をできるだけ聞くようにしており選択し決定できるようにしている。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 出来るだけ本人の希望に合わせるようにしており日中の活動は決めていただいている。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 着替えをする際本人に選んでもらっている。外出や行事の時はおしゃれし身だしなみに気を配っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 個々の出来ることや要望に応じて準備をみんなで行っており職員と一緒にやっている。 | 太巻きや餃子作り、たこ焼きや野外バーベキューなど一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒にやっている。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 個人の状態に応じて好みの物や捕食で提供している。飲水が困難な時はゼリーなどの形状を変えたり量を調整しこまめに対応している。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 自ら出来る方は声掛けし見守りを行い、介助が必要な方は舌ブラシを使用するなど口腔ケアを行っている。 | | |
| 43 | 16 | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個々に応じて声掛けし汚染が無いように促してある。全介助の方などは食事前後や排尿状況に応じてトイレに誘導し自排尿を促しておりオムツを減らすようにしている。 | 一人ひとりの力や排泄パターンを排泄チェック表等で把握し、トイレでの排泄や排泄の自立に向けて支援している。 | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 運動不足にならないように毎日体操を行い、なるべく体を動かすようにレクなど促している。マッサージも行うときもある。また、乳製品を提供したり偏りのない献立に心掛けている。 | | |
| 45 | 17 | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 本人の希望に合わせて週に2～3回の入浴を行っている。個々に合わせた入浴方法を支援している。 | 拒否が強い利用者にも一人ひとりに合わせ柔軟に支援している。また、希望やタイミング、生活習慣に応じて、週2～3回を目安に入浴支援をしている。 | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 個々の体調管理に心掛け希望あれば部屋で休息していただいている。夜間の入床時間は個々の判断に任せその都度対応している。不穏時は話を傾聴し落ち着いて安眠できるようにその都度支援している。 | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 新しい薬が処方になった時には処方確認した上で服用している。また服用してから状態経過を観察し報告している。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 日常生活で行ってきた家事など出来ることをしていただくことで喜びを感じている。外出・買い物などで気分転換を行いレク等もとりいれ楽しんでいただいている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 情報提供し希望を聞きながら出かけるようにしている。職員から機会を作ったり本人の希望を把握し出かけた時に立ち寄りしている。 | 馴染みの美容室への訪問や自宅への帰省、近隣スーパーでの買い物、冬祭りや花見等戸外に出かけられるよう支援している。また、花見や紅葉見物、商工会祭りや動物園見学、畑作業や野菜の収穫等楽しみごとや普段行けない場所への支援も行われている。 | |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 自分で管理したい方は小遣い程度の金銭を所持しており希望にて一緒に買い物に同行し使っている。 | | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 四季によりはがきに色を塗ってもらい個人でアレンジし本人の出したい所に送ったり手紙の一部代筆をしている。電話の希望時に対応している。 | | |
| 52 | 19 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 各自が使いやすいような配置にいつでも変動できるようにしている。掲示物なども季節感を出すようにしている。 | 利用者にとって、気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、リビングや共用空間には、一人になったり、談笑できるように椅子やソファが配置されていると共に、利用者手作りの季節毎の飾りつけやお祭り等の行事参加の写真が掲示しており、本人が居心地良く過ごせるよう工夫している。 | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 各自が居心地のよい場所があるように配慮している。 | | |
| 54 | 20 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 本人の大切なものは置くようにしており本人と家族が相談して気兼ねなく過ごせるようにしている。また温度調整や換気をし快適さを心掛けている。 | 居室は、温度・湿度を管理し、本人が居心地よく過ごせるように家族と相談しながら、使い慣れた家具や仏壇、家族の写真等が持ち込まれている。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 食事をする場みんなでくつろげる場があり移動しやすいようにスペースをあけてある。個人で出来ることみんなで出来ることを見極めそれぞれが自立した生活が送れるように工夫している。 | | |

目標達成計画

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---|---|---|------------|
| 1 | 23 | 本人の希望などを聞きそれをいかせるよう努めているが、実際にはあまり出来ていない。職員が時間に追われ余裕がないことも一因がある。 | 時間的な部分は業務の見直しなどにより時間を確保する。定期的なカンファレンスを行い課題分析を行っていく。 | 定期的にスタッフ会議やカンファレンスにて検討、見直しをしている。計画書の様式を変更し個々の望みや対応方法など計画書に取り込むことでケアの統一も図るようにしている。 | 1年 |
| 2 | 37 | 会話の中で思いや希望を聴けるよう声掛けを行おうとしているが入居者が遠慮して自己決定に至らない時がある | 遠慮なく意見や希望を述べていけるように職員側の会話の方法や傾聴の技術を習得する。 | 研修はおこなってはいないが会議のときに話したり本人の思いを代弁できるようにスタッフが意識していくように話あっている。 | 1年 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 0172901779 | | |
| 法人名 | 有限会社 パートナーステーション | | |
| 事業所名 | グループホーム 和が家 しらかば | | |
| 所在地 | 北海道旭川市春光台5条3丁目7-24 | | |
| 自己評価作成日 | 平成24年2月5日 | 評価結果市町村受理日 | 平成24年3月28日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の快適な生活の実現のため、ホーム内のスペースの活用はもとより屋外にベンチやテントの設置、犬やウサギなどの動物などと触れ合うことも出来るよう配慮している。周囲は鷹栖の田園風景や白樺並木を眺めることができ、自然豊かな高台で「安心してゆったりと生活」している。
また、花壇や畑作業などが十分に出来るよう自然を生かした環境を提供できるよう努力している。
「和が家」が地域の中で地域との連携、職場の認知症ケアの向上、人材の育成に力を注いでいる。

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172901779&SCD=320 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|--------------------------------|
| 評価機関名 | タンジェント株式会社 |
| 所在地 | 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内 |
| 訪問調査日 | 平成24年3月19日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| . サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します | | | |
|--|--|---|--|
| 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに 印 | 取り組みの成果 該当するものに 印 |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごしている (参考項目:30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 管理者は、会議などで法人の経営理念、運営理念、介護における理念などの説明を行い、職員間でも実践に向けて行動している。 | | |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 事業所としては夏祭りなどによる地域との交流の他、地域の行事や町内会の活動に参加するなど交流を行っている。また近郊のお店や美容室などを利用しながら地域住民との交流を図ってきた。 | | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進委員会やGHの行事の場面などで実際の介護状況や考え方を報告するなど、地域に対して一定の情報提供をしている。 | | |
| 4 | 3 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議では、都度適切なアドバイスなどを頂いており、GHのサービス改善につながっている。GH行事の進め方なども大きく前進があった。 | | |
| 5 | 4 | 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議に地域包括支援センターの職員の参加を頂き適切なアドバイスを得ている。 | | |
| 6 | 5 | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 内部、外部研修に職員を参加させるとともに、事故報告やヒヤリハット報告を通して、拘束につながらないような介護方法を都度話し合い、実施している。 | | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 外部研修などに参加するとともに、全体会議などで入居者に対する対応について話し合いを行っている。(呼称などについても) | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 外部研修に参加はしているが、実際に運用する機会が少ない。一部代替的な支援は所定の手続きのもと行っている。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居前に契約書にあるそれぞれの事項について説明をし、了解を得るようにしている。疑問や不安の解消に努めている。 | | |
| 10 | 6 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族会や役員会、運営推進会議などで、家族の意見が出せるよう対応している。行事や運営方法について要望などが出され、都度実現できるように行っている。 | | |
| 11 | 7 | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 全体会議や必要時、代表者に提案など行い、問題点の解消が行われている。 | | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 今までも職場労働条件の整備などが行われており、職場環境としては良好と思われる。可能な限り休憩など取れるよう配慮している。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部、内部の研修の機会を多く持ち、実際の介護の現場で実践できるよう進めてきた。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域連携研修会や実践者研修を通して施設の職員との交流を進めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前も含めご本人のGHへの訪問を勧め、その都度要望や不安などについて聞くようにしている。入居後、要望などが速やかに実現できるよう事前の対応を考えてきた。 | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 事前の面談を多くし、要望の把握と共に、不安の解消に努めてきた。 | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 当GH入所以前の受けていたサービス状況や自宅や施設での情報を収集し、当面必要とする支援を考え、初期のケアプランを作成し実施している。 | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 対等の関係については、職員間の話し合いや全体会議での検討を行い、入居者の主体性や対等の立場が実現できるよう努力している。 | | |
| 19 | | 本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 本人も含め、ご家族に必要な支援は何かを考え対応してきた。GHへの訪問に関してもその障害を取り除くなど行ってきた。ご本人とご家族の時間を重視するようにしている。 | | |
| 20 | 8 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 自宅への帰省、一族の墓参り、結婚式への参加などこれまでの生活でのかかわりなどを重視している。 | | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 外出の際の、入居者同士の助け合いや、食事での配膳、行事などにおいて入居者同士がかかわりあえるよう対応してきた。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 情報提供は行っているが、機会が少なかった。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 一人ひとりという観点は少し不足していた。少ない要望に対しても全体でとの考えが強く、難しい面もあった。 | | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 生活歴の把握に努め、一部新しい情報も得られている。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 全体でとの意識が強いが、無理はさせないよう努めている。それぞれの能力の把握を観察するようにしてきた。 | | |
| 26 | 10 | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護計画作成や評価に関しては本人、家族と必ず話し合いを行っている。内容に関してはカンファレンスを行い、職員間で共有してきた。 | | |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護記録の内容の改善や個人別サマリーの作成、介護支援経過記録などを行いながら、ケアに対する評価、改善につなげている。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご本人の能力を維持するため、外部の医療系サービスや生活の中で発生するニーズに対して答えるよう対応してきた。 | | |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の商店や美容室の方々の理解を得ながら、地域の中で生活できる能力を生かせるよう対応してきた。 | | |
| 30 | 11 | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人や家族の意向を重視し、かかりつけ医と話し合いを深め、適切な医療が徐々に可能となってきた。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | 看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 医療連携において、看護師あるいは訪問看護ステーションの活用などを通して必要とする健康管理、医療が受けられるよう支援できている。 | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 利用者の状況を十分に医療機関に伝達し、必要な入院などが可能になるよう対応してきた。 | | |
| 33 | 12 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 必要時、家族や医療機関と話し合いを行ってきた。事業所として出来ることに関しては家族が納得できるよう話し合いを行ってきた。 | | |
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 会議などで応急手当などの対応については話し合いを行って確認している。また蘇生などの訓練は出来ていない。 | | |
| 35 | 13 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 災害訓練は定期的実施している。地域の住民の参加も得ている。 | | |
| ・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 全体的にはプライバシーの確保は出来ている。個々の状況に関してはこれからもさらに尊厳などが確保できるよう努めるようにしている。 | | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 本人の希望、要望が表出できるよう対応しており、一部要望が出るようになったが、対応できていない部分もある。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりのペースを大切にしようとする姿勢はあるが、できていない部分もあった。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 朝の整容や、外出時の服装などへの配慮は大きく改善されてきている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 一部おやつや昼食の作成などは出来るようになったが、献立や料理、食事の準備と言う点では利用者と話し合いをするなどはできていない。 | | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分摂取や食事量の確保は努力して行っている。栄養バランスに関しては本年度は分析できていない。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 口腔内のケアに関しては、職員間での話し合いなども行われており、よく出来るようになった。 | | |
| 43 | 16 | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄のパターンや習慣の分析はできているが、おむつの減少にはつながってはいない。しかし排泄時の失禁や失敗は減らすことが出来ている。 | | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 薬剤による対応に傾きがちで、食事や飲み物での対応はまだまだ不十分であった。牛乳や水分摂取量の調整は行っている。 | | |
| 45 | 17 | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 一人ひとりの体調などに関しては配慮できているが、希望などは難しい時もある。一部ではあるが入浴を楽しまれている方もいる。 | | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人ひとりの習慣やリズムは尊重しながら対応できている。就寝時の環境(温度、湿度、音、明かり)に注意している。 | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服薬している薬の作用や副作用などに関しては、表をつくり職員間で確認してきた。また症状の変化も正確に医療機関に情報提供できている。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 役割等に関しては、かなりの利用者が参加できるような体制が出来ている。また生活歴や過去の趣味や力を把握し活かせるような場面も一部提供できた。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | <p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p> | <p>希望にそっては対応できていない部分もあるが、できるだけ外出の支援はしてきた。一部家族の支援も受けて実施した。職員の体制により出来ないこともあった。</p> | | |
| 50 | | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>一部の利用者に関しては、買物時の支払いも行っていただいている。家族にも利用者へお金を持たせるよう依頼し協力を頂いている。</p> | | |
| 51 | | <p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>精神的な不安や心配事などがある時は、家族と電話で話をさせていただいている。家族にも協力を依頼している。季節の葉書や行事の案内状を利用者が作成し出したりしてきた。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>ホーム内の温度、湿度に留意してきた。台所の音や掃除機を極力使わない工夫や職員の話し声などカンファレンスで話し合い実施してきた。利用者が発生していた不安、混乱はあきらかに減少してきた。</p> | | |
| 53 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>趣味活動やレクリエーションなどそれぞれが一定の空間で行えるよう実施してきた。ホールがワンフロアのため難しい場面もあったが、和室や相談室などは利用してきた。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>本人や家族と相談しながら写真を貼ったり、本人が書いた絵を貼ったりしている。また買物で買われた鉢植えを飾ったりされている。</p> | | |
| 55 | | <p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>家族と相談しながら、また本人の能力を考えながら、手すりの設置、いすやテーブルの設置を行っている。要望によりCDプレイヤーやテレビを設置したりしている。</p> | | |

目標達成計画

作成日：平成24年3月20日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|--|--|--|------------|
| 1 | 37 | 会話の中から本人の要望や希望を聞いていくよう努力はしているが、入居者の遠慮とか傾聴技術の未熟さから十分な把握はできていない。 | 入居者との会話あるいはその心理状況の把握の方法や傾聴技術を習得していく。 | 外部研修による技術の習得(実践者研修:2名、パーソンセンタードケア研修:1名など) 内部研修:全体会議 | 1年間 |
| 2 | 24 | 一部の方の生活歴や既往歴の整備がされておらず、本当のニーズを把握できていないのではないかとこの点がある。 | 家族、本人、関連する介護関連施設など協力を得ながら基本情報の整備を図る。 | 家族および本人と話をしながら過去の生活や趣味などの調査を行った。 上記の情報を元に基本情報の整備をおこなった。 過去の趣味(絵、料理、縫い物など)を日常活動に取り入れた。 | 1年間 |
| 3 | 47 | 入居者の服用してる薬剤がどのような作用があり副作用など生活していく上で障害になるものがあるかが理解できていない部分もある。 | 入居者が服用している薬剤の作用および副作用を知る。 | 利用者ごとの服用薬剤の薬効、作用、副作用の表を作成した。 全体会議で薬剤の作用、副作用の勉強会を行った。 作用、副作用を把握することにより、医師に症状を説明でき、薬剤の変更や調整が行われるようになった。 | 1年間 |
| 4 | 18 | ホーム内での生活が職員との共同生活であるという視点が弱いと感じる。 | 入居者個々人に能力や考え方の差があり、できること、できないこと、やりたいことを把握していく。各入居者がそれぞれの役割をもてるようにしていく。 | 誕生会のまとめを会議で話し合ったり、行事のときの利用者の様子を分析したりした。 家事仕事やレクでは一部役割ができています。 利用者が主体的に日常生活を送るという点では不足しているが、料理などの活動をしていただきながら観察中。 | 1年間 |
| 5 | | | | | |

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。